

黒潮地域総合診療

オーガナイザー

地域医療支援センター	教授	上野	雅巳
地域医療支援センター	講師	蒸野	寿紀

教員名

紀北分院	教授	廣西	昌也
地域医療支援センター	助教	中村	有貴

I 授業の目的

黒潮医療人養成プロジェクトにおいて、地域医療・総合診療に関する継続的・集中的な講義と従来の夏季実習よりも充実した地域医療人材養成拠点病院等での実習によって、地域医療マインドを持つ学生の意欲の向上を図るとともに、地域医療において求められる総合的な診療能力を身につけることを目的とする。

II 到達目標

1. 和歌山県における地域医療の現状を理解する。
2. 地域医療に従事する医師の必要性を理解する。
3. 地域医療に従事する医師が担うべき役割を理解する。
4. 地域医療におけるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。
5. 高次医療機関と連携した医療提供の必要性を説明できる。
6. 保健・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間の連携の必要性を説明できる。
7. 低学年から継続的に地域医療に関わることで、現役医師と現場の課題を共有する。
8. 学生間で情報交換を行うことで、各地域における医療提供体制と課題を共有する。
9. 学会に参加し、研究成果について発表を行う。
10. 高知大学・三重大学の学生と交流し、ディスカッションを行う。

III 対象学年

1・2年生（各学年4名）

IV 実施期間

病院実習：夏期休業中（7月-9月）

1年生はケアマインド教育の一環として早期体験実習を5日間実施する。

2年生は地域医療支援センターの夏季実習を従来の2日間から5日間に延長して実施する。

（同一施設での実習を推奨するが、学生の希望に応じて対応）

その他、教員と定期的なミーティングを実施し、学習・ディスカッションを行う。

V 実習詳細

地域医療人材養成拠点病院等4施設（橋本市民病院、国保すさみ病院、那智勝浦町立温泉病院、紀北分院）のいずれかの施設において実習を行う。実習内容については、事前にアンケート調査を行い、各学生の希望に沿った内容となるよう各施設の指導医・実習コーディネータと調整を行う。また、地域医療に関連したe-learningコンテンツを提供しており、実習までに閲覧すること。

VI 評価方法

出席態度50%、レポート50%で評価する。

夏季実習報告会等での発表内容も評価に加味する。

VII 病院実習を受けるにあたって（服装・所持品を含む）

別途説明会を開催し説明するので参加すること。